

広報 **ふじ** NO.202

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

51.4.25 発行



三万人の人出でにぎわった緑と花の百科展（四月十八日市役所駐車場で）

公害苦情の半数を占める 騒音 水質汚濁

いやなおいがして食事がまずくなる。隣りの工場の音がうるさくてテレビも聞こえないから何とかしてほしい。など公害に対する苦情はあとをたちません。こうした傾向は、みなさんが住みよい環境づくりを願う結果であり、市も、その都度現状を調査し解決のための指導を行ってきました。それでは、昭和50年度中にみなさんから公害課に寄せられた苦情の内訳をお知らせいたします。

1年間に234件の苦情が……

昨年4月から今年の3月までに寄せられた公害に対する苦情は234件で、前年に比べ46件減少しました。苦情の内容は、騒音が69件で最も多く、ついで水質汚濁の60件、この両方で全体の55%を占めています。このほ

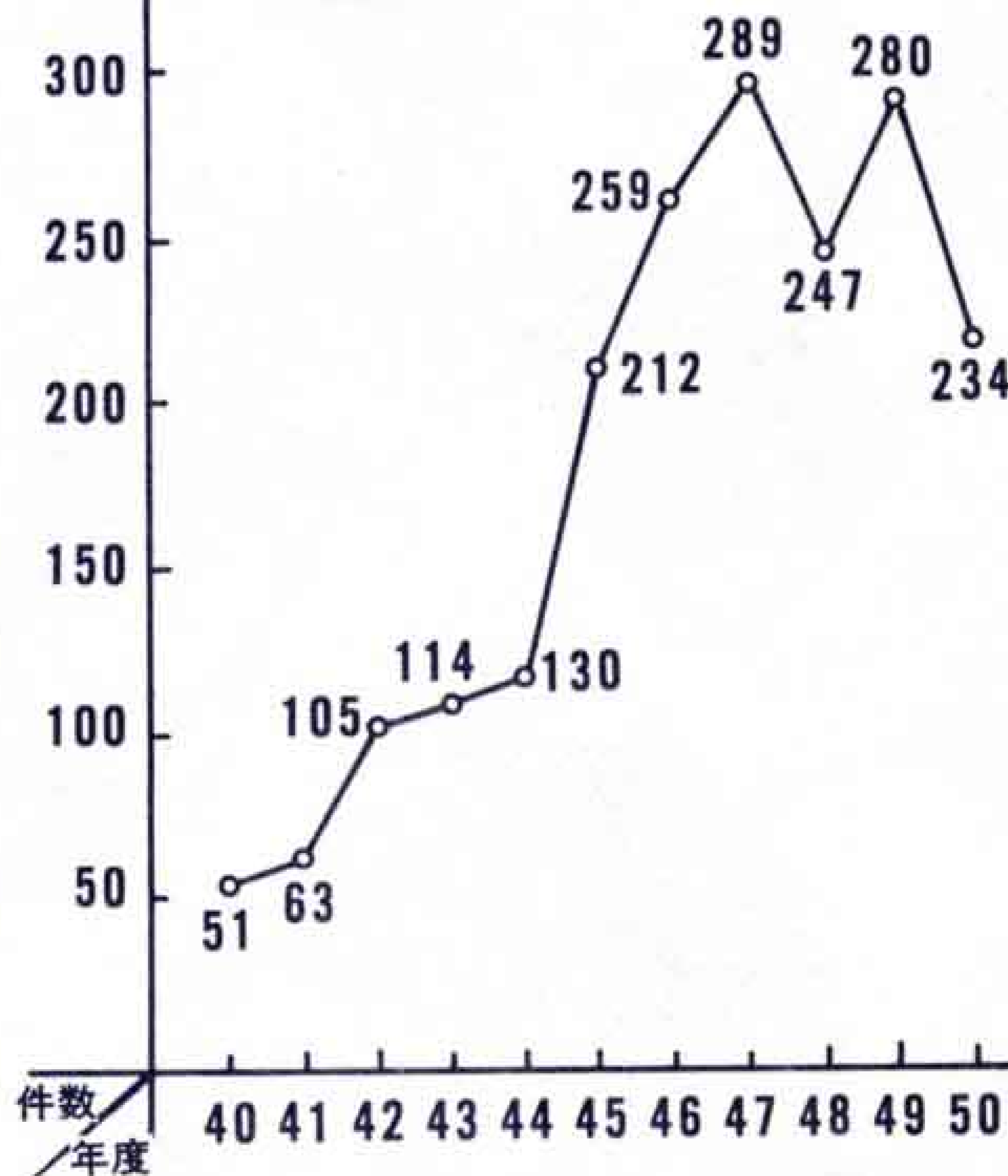
か、悪臭が41件、ばい煙が27件、粉じんが13件、振動が7件などです。

公害の発生源は、ほとんど工場が占めていますが、原因となった被害についてみると耳や目、鼻などのからだで感じるものが最も多く、これが騒音、水質汚濁、悪臭などに現われています。ついで財産被害、動植物被害、健康被害の順でこれら

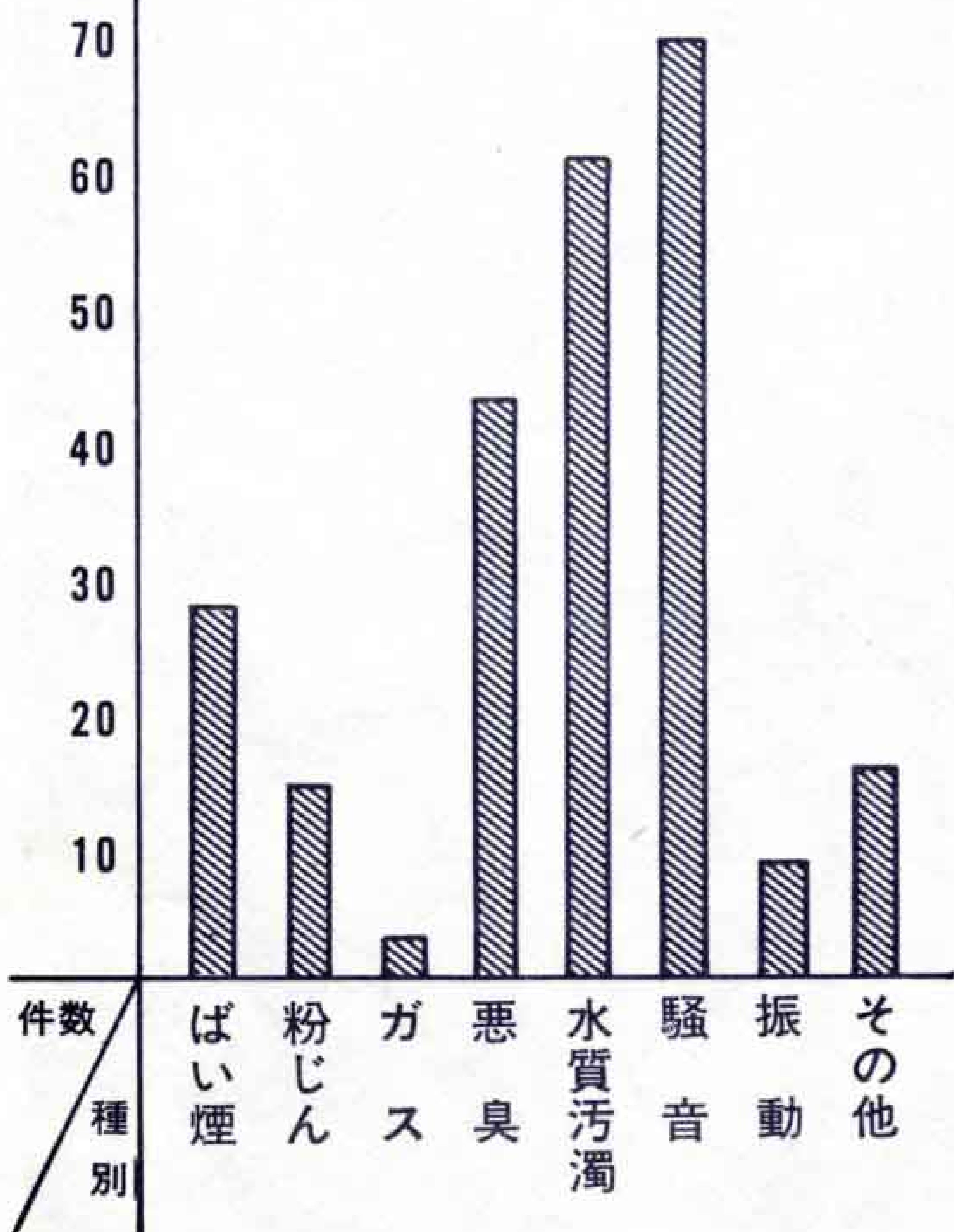
の苦情の約9割が都市計画区域内で発生しています。

また、最近の苦情の傾向として、広範囲で多くの人に被害をおよぼすよ

年度別公害苦情件数(表1)



50年度種類別公害苦情(表2)

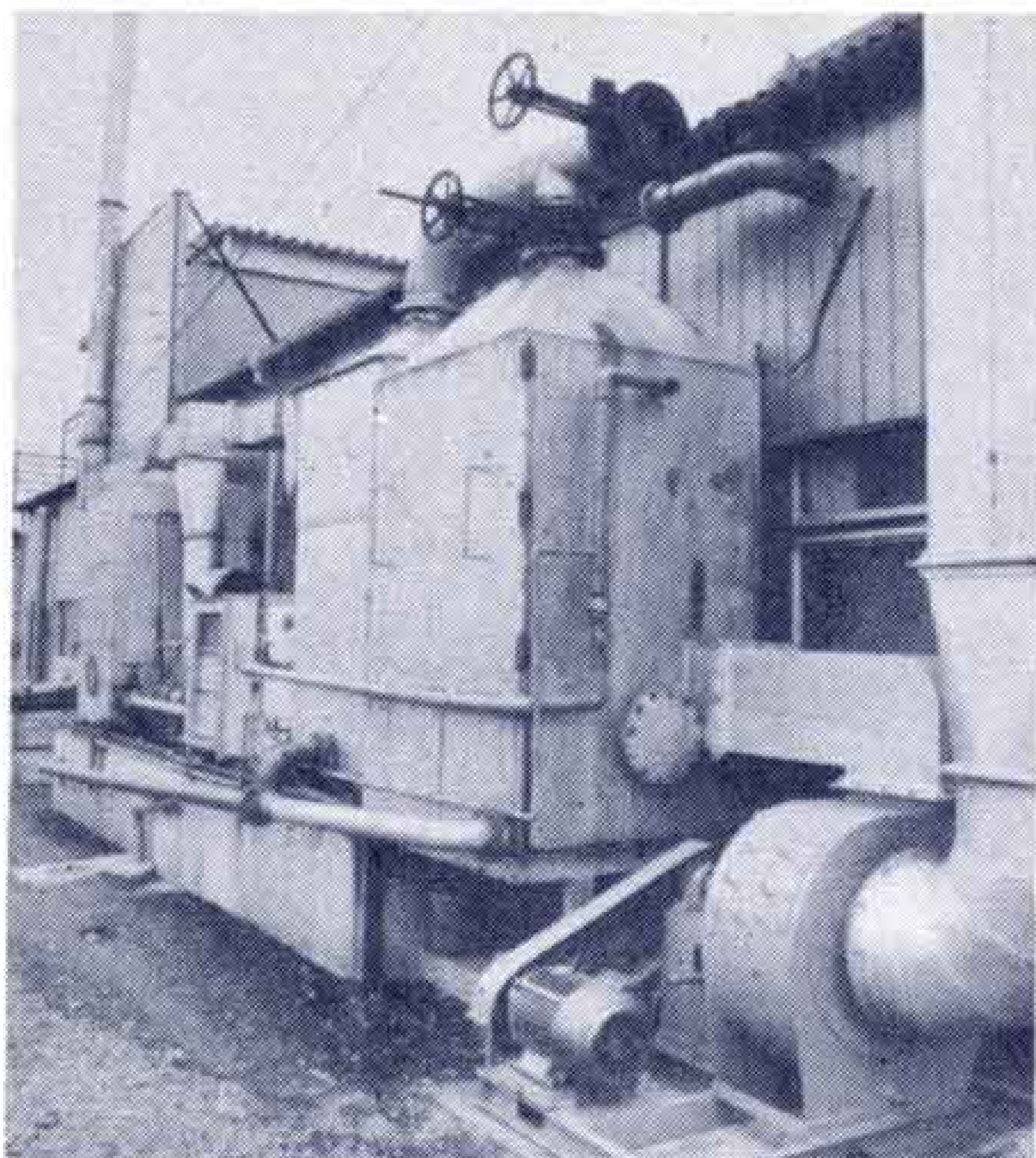


うなものは少なくなりました。しかし、生活環境が良くなってきたため今まであまり気にならず、公害として取り上げなかった、浄化そうの臭気、ピアノやクーラー、換気扇の音などの日常生活のなかから新たな問題が起ってきました。



【騒音や振動の測定を行う環境監視測定車】

建設省の河川局長富士地区を視察



【脱臭装置を設置したA工場】

夏に多くなる苦情

苦情の多い時期は、6月から9月で、この時期は窓を開放することが多いことや、暑さなどで不快なときに、音やにおいが普段よりひどく感じるためと思われます。また、富士市の場合、工場と住宅が隣接している所が多く、それだけ苦情件数も多くなります。

苦情の申立てがあると、公害課の係員がその都度現状をくわしく調査し、当事者から事情などを聞いて解決に当たっています。50年度の場合約95%を解決しました。この中には、工場の騒音が基準を大幅に上回り、移転したものや施設の改善、新しい装置を導入して解決したものなどがあります。

苦情件数は40年度に比べ4.6倍

2ページの表1は年度別の公害苦情件数ですが、50年度と40年度を比べてみると4.9倍に増えています。この11年間の総苦情件数は1984件にもなっています。内訳は、騒音が554件で28%、水質汚濁が458件で23%、悪臭が348件で17%、ばい煙が236件で12%、粉じんが179件で9%、振動が76件で4%、ガスが61件で3%、その他72件で4%となっています。

海岸の事業整備促進などを陳情

建設省の増岡康治河川局長ら一行が4月12日、富士地区を視察しました。途中市役所に立寄り、富士市・富士宮市・芝川町から陳情を受けました。

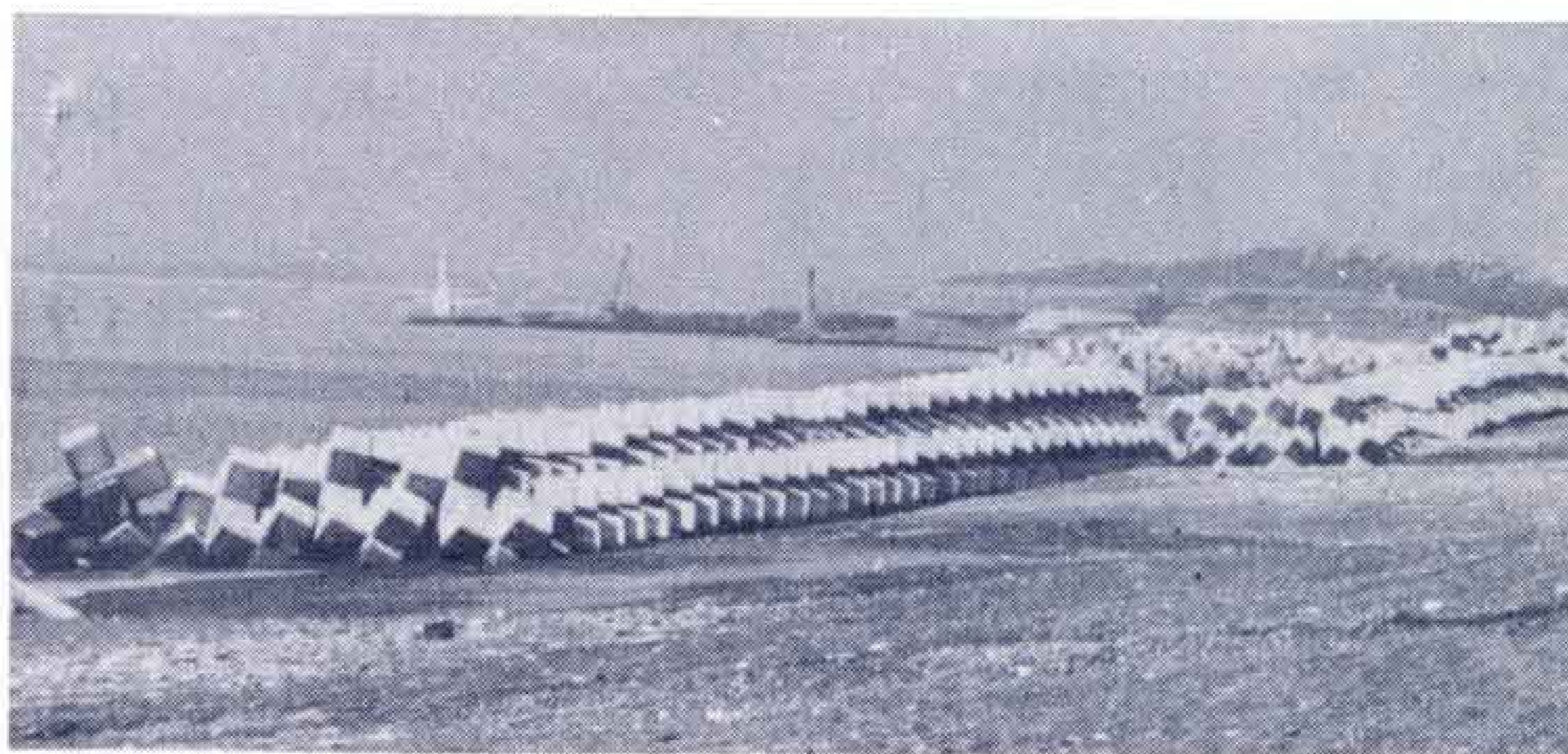
富士市からは渡辺市長が、①吉原・富士海岸の事業整備促進について、②都市河川事業の整備について、③砂防事業の整備についての3項目を陳情しました。また、富士宮市と芝川町からは、富士山大沢崩れ砂防工事の早期完成について、潤井川改修工事の促進についてなど陳情しました。

このうち、吉原・富士海岸の整備について渡辺市長は「長年にわたって要望してきた富士海岸も、51年度から建設省直轄事業として認められ、地元住民と共に感謝しております。これまで両海岸は、国・県において保全工事をすすめていただけてきましたが浸蝕はとどまることなく進行し、堤防のすぐ近くまで達しています。地元住民の不安は計り知



れず、市としても海岸を守っていくことを最大の使命としているので、今後、なお一層、吉原・富士両海岸の整備促進をお願いします。

なお、陳情を受けた増沢河川局長は、私は中部地方建設局にもいたことがあり、このへんのことはよく知っているし、河川局の仕事も富士山のてっぺんから駿河湾の海岸まで対象にしています。この中に人口急増地帯としての富士市をはじめ、富士宮市、芝川町があるので、防災事業を進めておかなければ将来大変なことになると強く感じました。本日色々お話しを伺いましたので、できる限り地域の要望にこたえて行きます。とあいさつがありました。



【浸蝕防止のためテトラポットが置かれた吉原海岸】

郷土の文化遺産・古墳群

ふじの歴史

市内には、約400基余りの古墳がありますが、みなさんご存知ですか。そのほとんどが伝法地区から須津地区の丘陵地に点在しています。これらの古墳は、いまから1300～1700年前に盛んに築かれたもので、この時代を日本の歴史では古墳時代と呼び、当時の支配者、権力者の墳墓です。自分の力を示すため権力がある人ほど大きな古墳をつくりましたが、死んだ時、武器や装身具、鏡など数多くの副葬品をいっしょに埋葬しました。

なかでも増川の浅間古墳、比奈の東坂古墳（消滅）は、古墳時代中期に築かれたと思われ、大きなことや形、造りなどからスルガのクニの国王の墳墓と推定されます。これにより、本市地域が政治、社会、文化の上で

重要な地位を占めていたことも伺えます。

なお、約400基余りの古墳の大部分は後期のもので、比較的小規模な円墳であり、群集墳を形成しています。これらは、おそらく村の長級の人達の墳墓と思われます。

しかし、これらの大半の古墳は、茶園やみかん畑など農地として利用されたり、宅地造成な

どで破壊されてしまい、残っているものは大きなものだけです

古墳文化の様相を解明する貴重な文化財ですから、保存し、後世に残すことは、私達に与え

られた大事な仕事ともいえます。

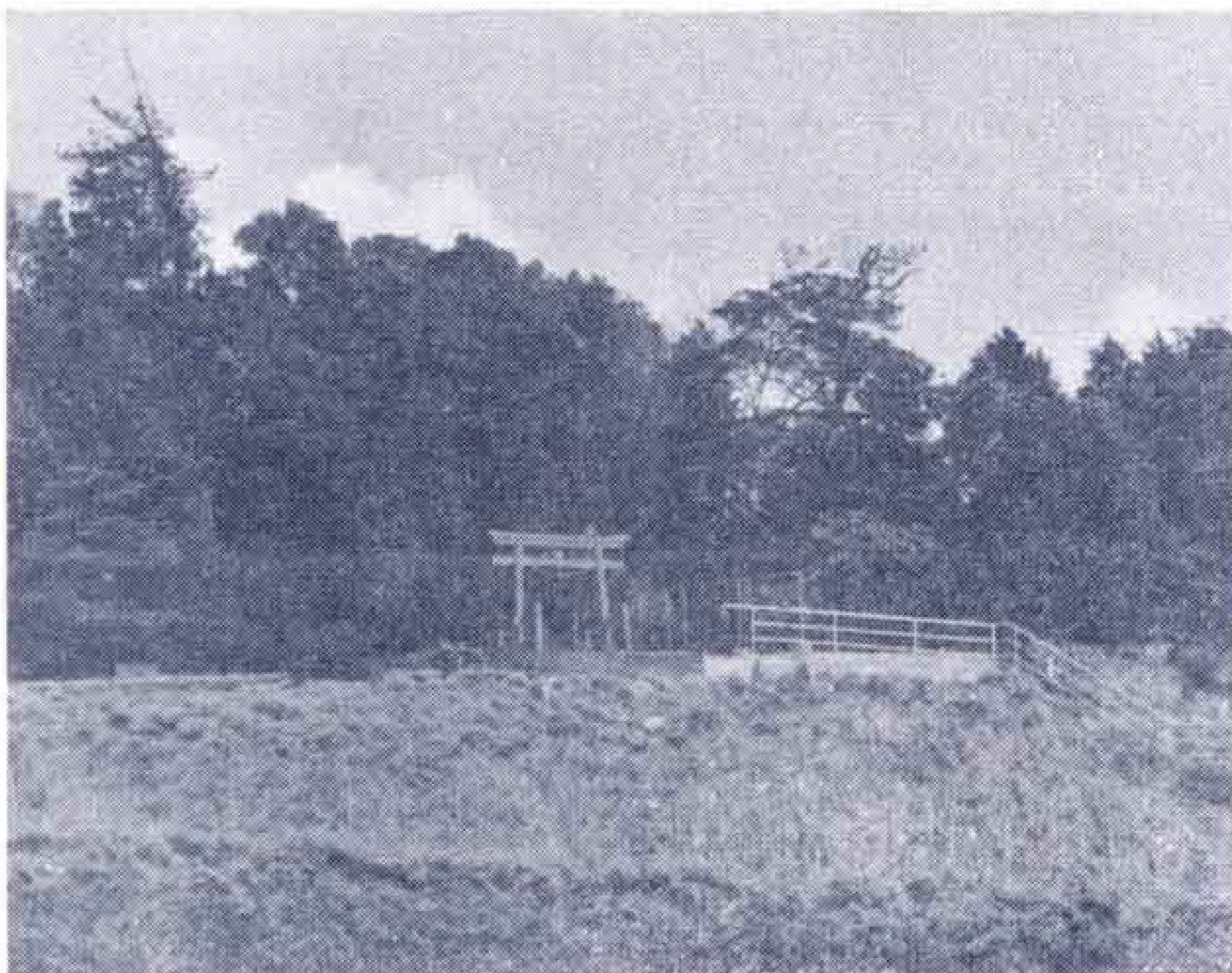
それでは、市内の主要古墳の概要と略図をお知らせいたしますので、休日などに親子そろって「古墳めぐり」をしてはいかがでしょうか。なお、各公民館で「富士の古墳」移動展を開いていますのでお出かけください。今後の日程は、5月が須津公民館、東公民館、6月が元吉原公民館の予定です。くわしくは、教育委員会社会教育課（51-0123、内線455）へ問い合わせください。



【三ツ沢実円寺西第1号墳横穴式石室】

実円寺西第1号墳（三ツ沢）

三ツ沢実円寺の西側台地で、海拔約80㍍、人を埋葬した石室（横穴式石室）は露出しています。昨年8月に実測調査を行ったところ、長さ25㍍、高さ5㍍の円墳で、石室は11.8㍍ありました。石室の規模は、現在残っているものとしては県下最大です。



浅間古墳（増川1丁目）

愛鷹山麓の台地上に造られ、形は前方後方墳で、長軸の長さは98㍍です。前方部は長さ36㍍、幅40㍍、高さ8㍍。後方部は幅60㍍、高さ11㍍の県東部第一の大型古墳です。スルガのクニの国王の墳墓とされるこの古墳は形、そして全国的な成立からみて、今から1500年位前（古墳時代中期初頭）につくられたものと思われます。なお、浅間古墳は市内でただひとつ国の史跡に指定されています。



伊勢塚古墳 (伝法)

伝法玄龍寺境内にあり、県の史跡にも指定されています。二段築成の円墳は直径54m、高さ8mの大型古墳です。造られたのは古墳時代中期末か後期初頭頃（およそ今から1400年位前）とされています。

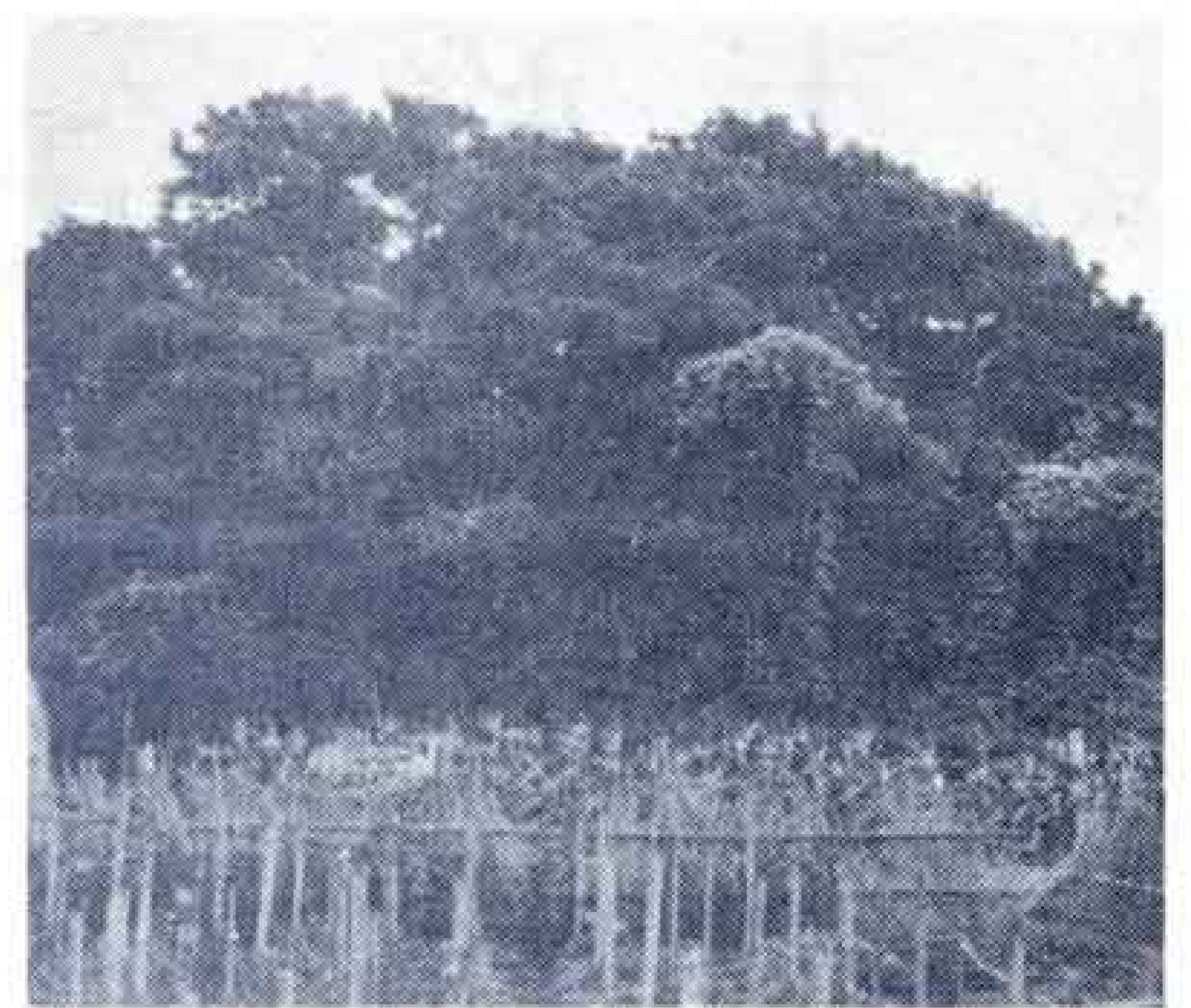


千人塚古墳 (神谷赤坂)

須津川の河岸段丘上に造られた円墳で、横穴式石室は露出しています。

庚申塚古墳 (東柏原新田)

東海道線 東田子の浦駅の東方500mのところ、駿河湾の砂丘が浮島沼に接する海拔わずか5mの低地にあります。形は「双方中方墳」で、長さが40m、高さが3.5mあります。全国でもめずらしい古墳で、県の史跡にも指定されています。



山ノ神古墳 (東柏原新田)

庚申塚古墳の東へ約150mのところ、海拔5mの砂丘地にある前方後方墳です。長さは41.6m、後円部の長さが21m、高さが3mです。

琴平古墳 (中里)

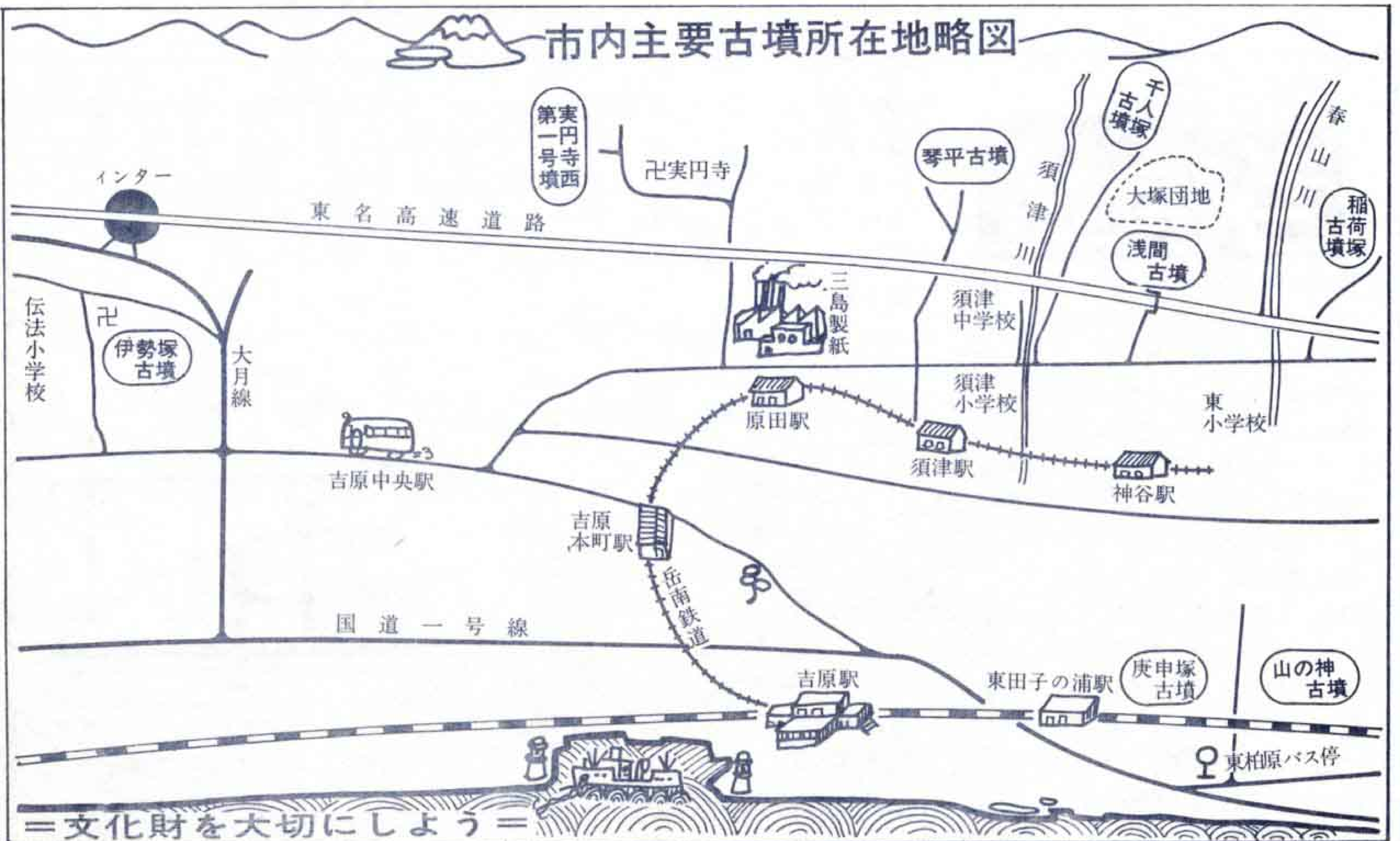
浅間古墳の西方1000mのところ、愛鷹山麓の丘陵斜面（海拔60m）を利用した大型円墳で、長さが31m、高さが5mあります。古墳が造られたのは古墳時代中期末か、後期初頭（およそ今から1400年位前）とされています。



【発掘中の中里大塚団地古墳1号墳】
（石室内の様子） 昭和50年3月

稲荷塚古墳
(船津浅間原)

海拔40mの春山川の河谷原にあります。円墳で長さが9m、高さが1.8mで、人を埋葬した石室（横穴石室）が露出しています。



市政 消費生活 モニターに委嘱状を交付

市政モニターと消費生活モニターに、4月16日渡辺市長が委嘱状の交付を行いました。

市政モニター制度ができてから今年で7年目。今回は25人の方に来年3月までお願いしました。市政モニターの仕事は、会議や手紙で行政への意見、要望などを寄せていただきます。

要望や意見から、世論の動向や推

移を把握し、行政施策の企画、効果測定の基礎的な参考資料として、市政の合理的運営をはかるために利用します。

消費生活モニター制度は今年で4年目。今回は44人の主婦にお願いしました。消費生活モニターの仕事は商品の価格や品質、量目などの調査と、消費生活全般にわたって

の意見、要望、苦情などをモニター通信で出していただきます。なお、これらの情報もさることながら、「かしこい消費者」となるための研修や実践活動で、市民ひとりひとりの知識の向上にも努めていただきます。



【市政モニターのみなさん】



【委嘱状を受ける消費生活モニター】

5月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■5月2日

外科 宮下医院 (平垣 61-0376)
米山病院 (吉原4 52-3060)
産婦人科 望月医院 (西比奈34-0445)

■5月3日

外科 川村医院 (富士中島 61-4050)
吉田医院 (石坂 51-2515)

産婦人科 柵山医院 (厚原 71-4771)

■5月5日

外科 榎村医院 (柚木 63-8881)
外科 芦川病院 (中央町2 52-2480)
産婦人科 窪田医院 (平垣 61-3100)

■5月9日

外科 渡辺病院 (錦町1 51-3751)
秋山医院 (富士岡 34-0075)
産婦人科 山下医院 (西国窪52-0611)

■5月16日

外科 中央病院 (本市場 61-8800)
快明堂医院 (中央町1 51-0301)
産婦人科 中央病院 (本市場61-8800)

■5月23日

外科 吉原病院 (南町 52-0780)
清河医院 (広見6 52-6212)
産婦人科 遠藤医院 (吉原3 52-1941)

■5月30日

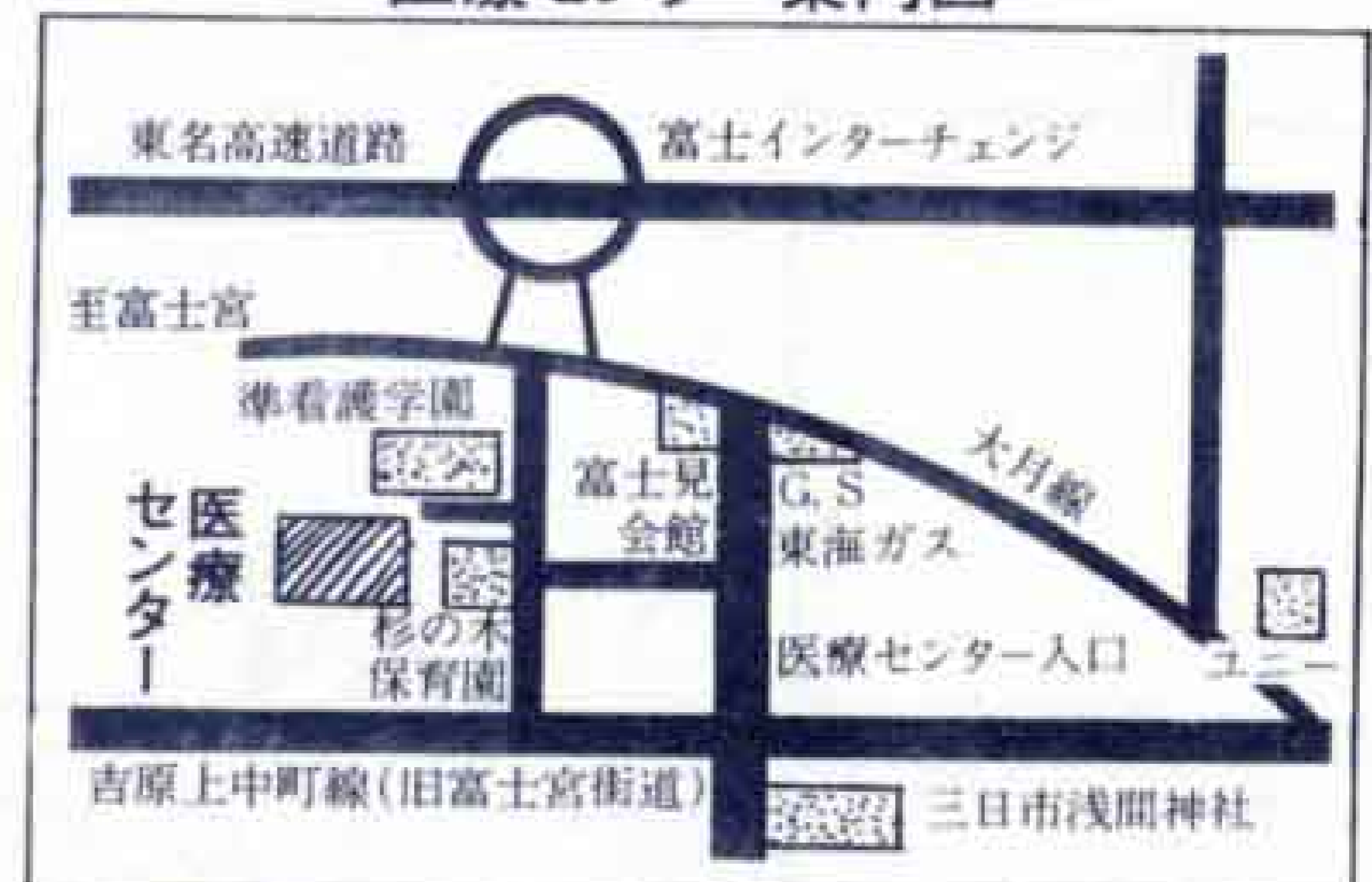
外科 米山病院 (吉原4 52-3060)

鈴木医院 (宇東川東町52-2213)

産婦人科 鈴木医院 (今泉1 52-1712)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2 (長者町)」電話は52-3104です。

第17回東海白ギス釣選手権大会

長橋さん(柏原)が優勝

市内から初の優勝者

県内外から800人が参加して、第17回東海白ギス釣選手権大会が、4月18日柏原海岸で行われました。あいにくの曇り空で風も強く、獲物はサッパリ。早々と帰る人も多く、約1割の人が白ギスにお目にかかった程度です。優勝者は8匹(445グラム)を釣上げた長橋厚さん(柏原)で、17回目にして初めて市内から優勝者が出ました。



観光写真コンクール

遠藤良文さんが市長賞を獲得

富士市観光写真コンクールの入選作品の展示を4月15日と16日の2日間富士文化センターで行いました。コンクールも今年で9回目、市内はもとより県内外から335点の応募がありました。審査の結果、田子の浦港の夕景を画題にした遠藤良文さん(一色)のスライド写真が市長賞を獲得しました。



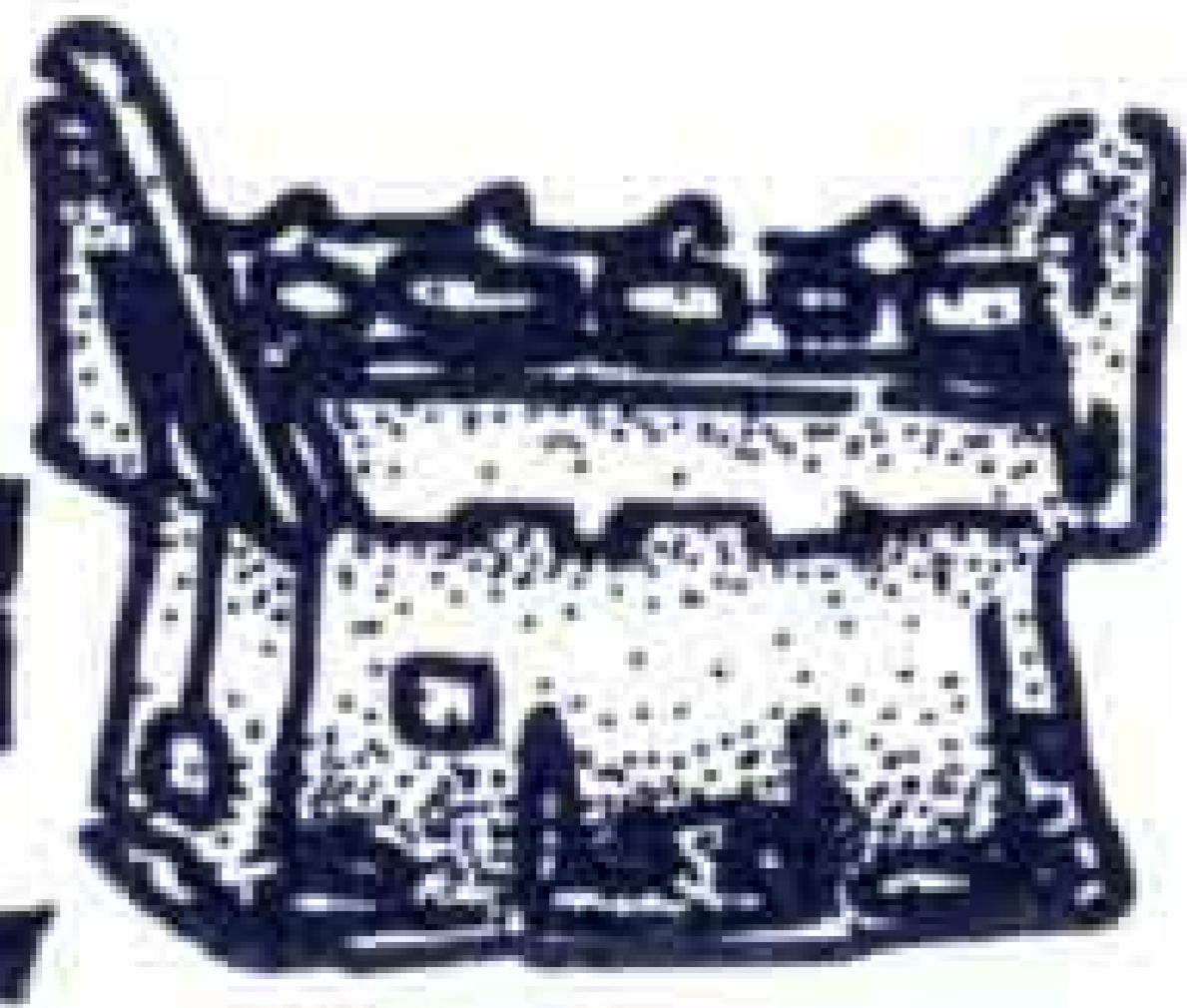
吉原本町通りで歩行者天国

自動車の心配をしないで自由に歩ける道路。4月12日の吉原本町通りは歩行者天国でにぎわいました。道路にはパラソルやベンチが置かれ、金魚すくいやマス釣りコーナーは子供達でいっぱいでした。

子供づれの奥さんは、毎週日曜日が歩行者天国だと安心して買い物ができますね……とおっしゃっていました。



ふるさと の歴史



よしわらと呼ばれたのは、いつごろからでしょう……

田子の浦港の東側にあった見付(みつけ)が高波のため、今井鈴川地区に場所が変わりましたね。この元吉原宿の時、正式に「よしわら」と宿場の名前が決められました。

それから中吉原宿、新吉原宿と移って明治22年に吉原町、昭和23年に吉原市となりました。

「よしわら」と決められたのは江戸時代ですが、土地の名前としては鎌倉時代の初めころから呼ばれていたようです。

みんなは「よし」を知っています

吉原 鷹岡地名がしたのは

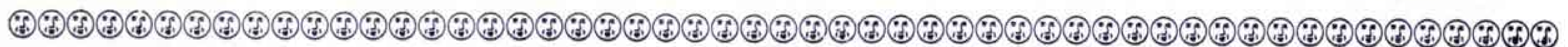
か。水辺にはえるいね科の植物です。昔の富士川は、浮島沼のあたりで直接するが湾に流れていましたから、ここは浮島ヶ原と呼ばれた水郷でした。浮島ヶ原には、きっといちめんによしがはえていたんだと思います「よしの原」から「よしわら」となったのかもしれませんがはっきりした史料はありません。

鷹ヶ丘から鷹岡に……

鷹岡の久沢には、鷹ヶ丘と呼ばれたところがありました。鷹ヶ丘は曾我兄弟の五郎が鎌倉に送られる途中首を

討たれたところでした。鎌倉時代は鷹ヶ丘を通り、身延線に平行して東には甲州街道が続いていました。

また、このあたりから富士山が見えないことから、鷹ヶ丘のことを富士がくれともいいます。



6年生全員が交通安全リーダー

下級生の指導に頑張っています

恐い交通事故から身を守り、下級生の指導を行ってもらうため、市内の全小学校の6年生に4月から交通安全リーダーをお願いしました。

リーダーは、いつでも下級生の模範になってもらいますが、だれにでもわかるように腕にワッペンをつけています。



各学校ではリーダーが下級生の指導を正しくできるように、新入生といっしょに、通学路を利用して実地訓練を行っています。

みなさん、リーダーの注意をよく守っ

て、恐い交通事故に合わないよう注意しましょう。

交通安全リーダー

どうろであそびません

どうろにとひだしません

くるまのすぐまえやうしろはおうだんしません